

## 「浙江大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学法学部2年 吉田知代

## I. プログラムの内容

平日の午前には、中国語の語学レッスンを受講する。初日に口頭試験の形でのプレースメントテストが行われ、自分のレベルに合ったクラスに配属される。

平日の午後には、浙江大学生同伴で、企業訪問や博物館見学、杭州観光などのアクティビティが用意されていることが多い。

平日の午後の一部や休日は自由行動であり、どのように過ごすかは個々の裁量に任されている。週末は上海や蘇州に観光に行くこともできる。

## II. 学習成果

私は、①独学で中国語を学んでいく上での足掛かりを得る②メディアを通してしか知らない中国の姿を自分の目で確かめるという2つの目標をもって、このプログラムに参加した。結果的に両方の目標を概ね達成できたと考えている。

①について、私は大学では第2外国語としてフランス語を選択していたが、中国人観光客を見ない日がないという私の地元の土地柄を受けて、中国語を学びたいと考えようになった。独学での学習を試みたが、発音の難しさから挫折してしまった。本プログラムでは、初学者向けのクラスに配属され、2週間の間みっちり発音のトレーニングをする機会に恵まれた。正直な所、中国滞在中に役立つような実用的な文法や表現を教えてもらいたいという気持ちがあったが、今振り返ると発音を克服することができたことで、今後の中国語学習を比較的スムーズに進められるのではないかと考えている。

②について、高層ビルや地下鉄建設があちらこちらで行われている中国の発展ぶりを目の当たりにし、様々な場面において中国で暮らす人々と関わる中で、メディアを介して私たちに入ってくる情報は断片的なものだと感じた。実際に自分の目で見たことによって、短期間の滞在ながら中国に対する印象が大きく変わったように思う。

## III. 海外での経験

杭州・上海・蘇州の観光を満喫したこと、中国で生活を送る中で日本との違いに驚いたことなど、このプログラムを通して得た経験として取り上げたい話題は枚挙に暇がないが、特筆したいことは国際交流である。

2週間の滞在の間、中国語クラスで知り合ったイタリア人の友達に特にお世話になった。彼女とはほぼ毎日昼食をともにし、彼女の企画で他のクラスメートを交えて杭州散策やパーティーを楽しむことができた。彼女を介して、南アフリカやフランス、カナダ、パキスタン、韓国など様々な国出身の人と親交を深めることができた。もちろん全ての会話は英語で行われる。2週間で英会話力がかなり鍛えられたと感じている。

## IV. 進路への影響

「海外で学びたい」という気持ちが一層高まった。語学の学習だけなら日本でもできるが、異なるバックグラウンドを有する人々と多様な形で関わることで、それまで信じて疑わなかった価値観が揺れ動かされる経験ができるのは海外だからこそだと認識している。このような価値観の振動は、利害関係を前提としたビジネスでもなく、娯楽を主たる目的とした観光でもなく、「学び」という自分の無知を痛感した上で、他者を敬い、他者から学ぼうとする営為の中でしか起こりえないものではないだろうか。だからこそ、「海外で学ぶ」ことの意義を今まで以上に強く感じるようになった今日この頃である。